

## ▶ 〈02〉 掘削機械

12-〈02〉-11	日立建機 双腕作業機  ZX135TF-3	'12.09 発売 新機種
------------	--------------------------------	------------------

13t級標準油圧ショベルをベースに、主腕は13t級フロントを、副腕には4t級フロントを装着した双腕作業機である。

主に建物解体およびスクラップ処理作業などを目的に開発されたものであり、今まで人手作業に頼っていた産業廃棄物の中間処理作業など複雑な仕分け作業を機械化することで、安全性と作業効率の向上を図っている。

標準油圧ショベルの作業を可能とした主腕と、主腕を補助する副腕との組み合わせにより、(a)片方の腕で物を押えて他方の腕で一部を分離する、(b)長尺物を2本の腕で動かす、(c)片方の腕で持ち上げ、他方の腕で下のものを引き出すなど多様な作業に対応できる。

双腕作業機の2本の腕（フロント）を同時に動かすためには、標準油圧ショベルでの左右2本のレバーで1本の腕を動かす操作方式では対応できないため、本機は2本腕としての機能を満足すべく、左右それぞれのレバー1本でそれぞれのフロントを動かすことができる操作系としている。

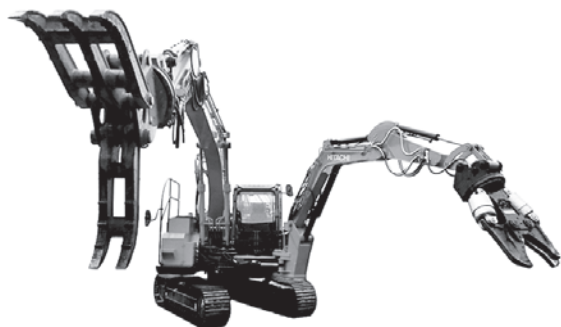
表一 ZK135TF-3の主な仕様

運転質量*1	(kg)	16,200
エンジン出力	(kW(PS)/min <sup>-1</sup> )	69(94)/2,000
作業範囲		
最大高さ（主腕/副腕）*2	(mm)	8,390/5,150
最大作業半径（主腕/副腕）*2	(mm)	7,250/5,550
最小旋回半径	(mm)	2,890
副腕スイング角度（左/右）	(度)	左 30/ 右 30
輸送時寸法		
全長	(mm)	7,400
全幅	(mm)	2,640
全高	(mm)	2,780
価格*3	(百万円)	23.6

※1 アタッチメント質量を含まない値

※2 アーム先端ピンでの値

※3 アタッチメント価格は含まず



写真一 日立建機 ZX135TF-3 [ASTACO NEO] 双腕作業機

問合せ先：日立建機株

商品開発・建設システム事業部 技術部

〒112-8563 東京都文京区後楽 2-5-1

12-〈02〉-13	コベルコ建機 油圧ショベル  SK250-9 ほか	'13.04 発売 モデルチェンジ
------------	------------------------------------	----------------------

汎用油圧ショベルの25t、35t、45tクラスのモデルチェンジ機である。SK250-9/SK260LC-9、SK330-9/SK350LC-9、SK470-9/SK500LC-9の6機種は、オフロード法2011年基準に適合し、運転時、大気中に放出されるNO<sub>x</sub>（窒素酸化物）とPM（粒子状物質）の排出量を従来機に比べ大幅に低減すると共に、より一層の低燃費を実現している。

全機種において新型エンジンの搭載と排出ガス後処理装置を装備し、燃費改善については、Hモード（作業優先モード）で従来機に比べ3～16%、Sモード（省エネ・燃費重視モード）同士では5～11%の低燃費を実現している。さらに、全機種に新作業モード「ECOモード」を設定し、従来のSモードに対して10～25%の大幅な燃費低減を可能としている。

ROPS（転倒時保護構造）規格に適合した新型キャブを採用し、キャブ内空間を拡大すると共に、右中央ピラー廃止によりワイドな作業視界を確保し、ISO安全規格に準じたメンテナンス用ハンドレール、後方確認カメラを標準装備するなど、安全性の向上を図っている。

また、新型カラーマルチディスプレイやキャブ内振動を30～50%抑えるハイスマウントを採用し、さらにキャブ内騒音の低減やレバー操作力の軽減にも取り組み、運転時の快適性と使い易さを向上させている。



写真二 コベルコ建機 SK250-9 油圧ショベル

## 新機種紹介

表-2 SK250-9, SK260LC-9の主な仕様

本体型式	SK250-9	SK260LC-9
標準バケット容量 (山積) (m <sup>3</sup> )	1.0	
運転質量 (t)	24.9	25.5
定格出力 (kW/min <sup>-1</sup> )	131/2,100	
最大掘削半径 (m)	10.30	
最大掘削深さ (m)	7.01	
最大掘削高さ (m)	9.79	
全長 (m)	10.22	
全幅 (m)	2.99	3.19
全高 (m)	3.20	
燃料タンク容量 (l)	460	
価格 (税抜き) (百万円)	26.6	28.2

表-3 SK330-9, SK350LC-9の主な仕様

本体型式	SK330-9	SK350LC-9
標準バケット容量 (山積) (m <sup>3</sup> )	1.4	
運転質量 (t)	34.0	34.8
定格出力 (kW/min <sup>-1</sup> )	201/2,100	
最大掘削半径 (m)	11.26	
最大掘削深さ (m)	7.56	
最大掘削高さ (m)	10.58	
全長 (m)	11.20	
全幅 (m)	3.19	
全高 (m)	3.42	
燃料タンク容量 (l)	580	
価格 (税抜き) (百万円)	31.3	33.1

表-4 SK470-9, SK500LC-9の主な仕様

本体型式	SK470-9	SK500LC-9
標準バケット容量 (山積) (m <sup>3</sup> )	1.9	
運転質量 (t)	47.2	47.9
定格出力 (kW/min <sup>-1</sup> )	257/1,850	
最大掘削半径 (m)	12.07	
最大掘削深さ (m)	7.81	
最大掘削高さ (m)	10.93	
全長 (m)	12.06	
全幅 (ステップ無し/有り) (m)	3.35/3.58	
全高 (m)	3.61	
燃料タンク容量 (l)	640	
価格 (税抜き) (百万円)	49.4	51.7

問合せ先：コベルコ建機(株) 営業促進部  
 〒141-8626 東京都品川区東五反田 2-17-1 オーバルコート大崎  
 マークウエスト

### ▶ 〈03〉 積込機械

12-〈03〉-03	キャタピラージャパン ホイールローダ Cat 914G <sub>2</sub>	'12.09 発売 モデルチェンジ
------------	--	----------------------

除雪、農業、産廃などの分野で使用されるバケット容量 1.5 m<sup>3</sup> のホイールローダ Cat 914G<sub>2</sub> をモデルチェンジしたものである。

シフトチェンジを用いず、アクセル操作だけで加速・減速のコントロールができる 2 モータ HST (ハイドロスタティックトランスミッション) の採用により、変速による衝撃のない走行および積み込み作業を実現している。

余裕のダンピングクリアランス/リーチ、また、開口部高さが大きく、荷こぼれの少ないハイスピルプレートバケットの採用および 5.2 m の最小旋回半径 (バケット最外側) によって、幅広い現場に適用可能となっている。さらにエンジン横置きレイアウトを採用することで、車両安定性の向上と馬力当り重量の低減を両立している。

ピラーを排したシリコンボンディドガラス採用により、広い視野を確保し、安全と効率の向上を図っている。

日常点検や定期的なメンテナンスが、地上から行えるよう配慮されている。また、軽量かつ強度を持つ強化プラスチック製のエンジ

表-5 Cat 914G<sub>2</sub>の主な仕様

	914G <sub>2</sub>
運転質量 (t)	7.8
バケット容量 (m <sup>3</sup> )	1.5
全長 (バケット付) (m)	6.280
全幅 (バケット付) (m)	2.405
全高 (キャブ上端まで) (m)	3.100
最高走行速度 (km/h)	34.5
エンジン名称	Cat C4.4 ディーゼルエンジン (ACERT)
総行程容積 (ℓ)	4.4
定格出力/回転数 (kW (ps)/rpm)	72 (98)/2,300
ダンピングリーチ (m)	1.010
ダンピングクリアランス (m)	2.625
価格 (百万円)	14.265



※掲載写真は国内標準仕様と一部異なります。

写真-3 キャタピラージャパン Cat 914G<sub>2</sub> ホイールローダ

## 新機種紹介

ンフードをフルオープンタイプにして、エンジンルームのメンテナンスを容易にしている。

オフロード法 2006 年基準適合の Cat C 4.4 ACERT エンジンにより燃焼工程を効率的にエレクトロニクス制御することで、クリーン、低コスト、そして高い信頼性を実現している。

国土交通省低騒音型建設機械の基準値をクリアしている。

問合せ先：キャタピラージャパン(株) 広報グループ  
〒158-8530 東京都世田谷区用賀 4-10-1

▶ 〈16〉 高所作業車，エレベータ，リフトアップ工法，  
横引き工法および新建築生産システム

13-〈16〉-02	アイチコーポレーション SH11A 型 HV トラック架装高所作業車 SH11A-P280	発売未定 応用製品
------------	---	--------------

電気・通信工事などの住宅地域での現場で使用されている 11 m クラスの高所作業車で、ハイブリッド (HV) トラックに架装し、燃料経費の低減と環境性能の向上を図ったものである。

高所作業装置はバッテリーパワーユニット P-280 を搭載しており、電動モータにより油圧ポンプを駆動し低騒音で、排気ガスを出さずに作業を行える。

パワーコントロールユニット、クラッチユニットなどのハイブリッドトラック専用部品と高所作業装置との干渉を回避しつつ、重量バランスをとり、車両積載量を確保することを可能としている。

ハイブリッドトラックとバッテリーパワーユニットの高所作業装置を組み合わせることにより、走行時と作業時を合わせた燃費および CO<sub>2</sub> 排出量ともに、現行ディーゼル車と比較して 30% 低減している。

表一 6 SH11A-P280 の主な仕様

架装シャシ	(-)	2.0 t 車クラス
全長×全幅×全高	(m)	5.19 × 1.735 × 2.78
車両最大積載量	(kg)	450
車両総重量	(kg)	6575
バケット積載荷重	(kg)	120
作業床最大地上高	(m)	11.0
作業床最大作業半径	(m)	8.7
バケット耐電圧	KV/min	20/5
バッテリーユニット騒音 (dB (A))		58 以下 (距離 5 m)
価格		未定

(注) 騒音値はブーム作動時を示す。



写真一 4 アイチコーポレーション SH11A-P280 HV トラック架装高所作業車

問合せ先：アイチコーポレーション 開発管理室  
〒362-8550 埼玉県上尾市領家 1152